

# カローラ/カローラツーリング モデリスタ バージョン

## サイドスカート 取付要領書(追補版)

品番 MSD44-12003-XX  
品番 MSD44-12004-NP  
品番 D2611-60410-XX

設定型式: ZWE21#(W)/ZRE212(W)/NRE210(W)/MZE17(W)

設定グレード: 全グレード

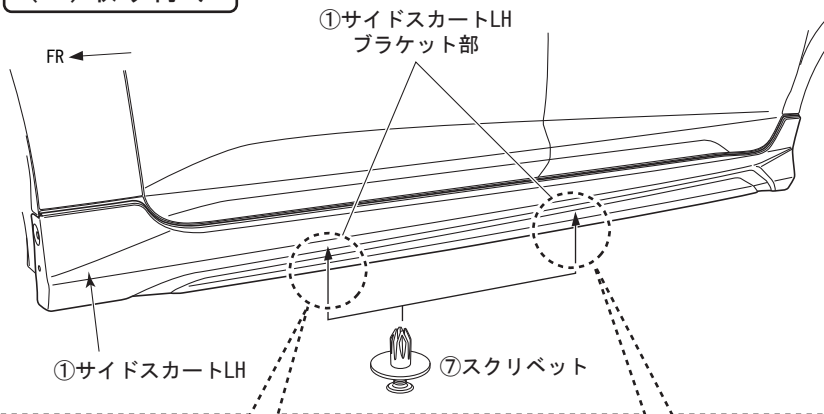
### ※最初にお読み下さい。

取付要領書、P. 8の(15)取り付けに関する注意事項が記載してあります。

以下の内容に従い作業を行って下さい。

追加箇所★部: ⑨⑩つまみ付きスペーサー取り付けに関する **重要** 事項を追加。

#### (15) 取り付け



- ①サイドスカートLH下面ブラケット部を⑦スクリベットで固定する。(2カ所)

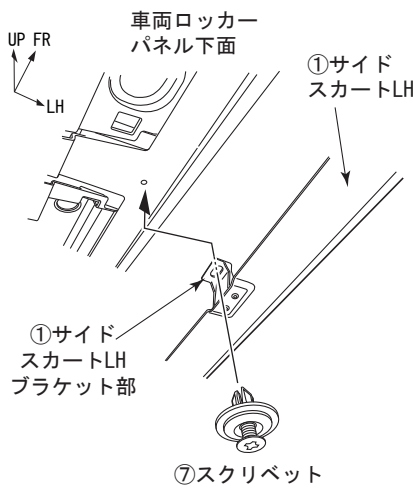


#### アドバイス

- ⑦スクリベットはしっかりと奥まで押し込んで下さい。

- ①サイドスカートLHとリヤ側ホイールハウスとの間に隙間がある場合は、適切な厚みのつまみ付スペーサーを入れる。(2カ所)
- つまみ付スペーサーのつまみ部を①サイドスカートLH内側に回転させて隠す。(2カ所)

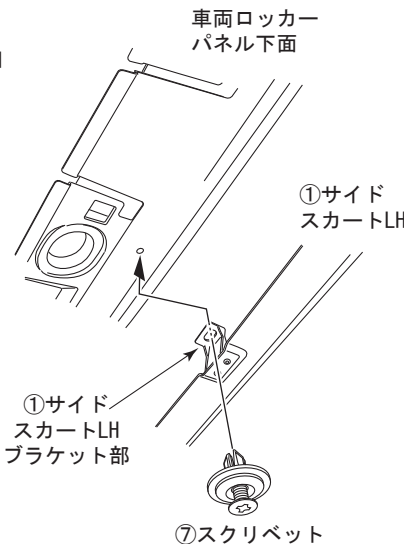
#### 車両下面視



#### LH図示

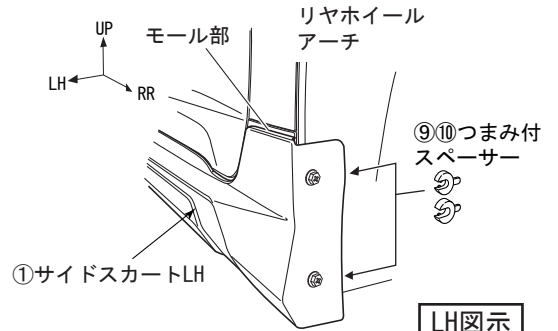
※RHも同様

#### 車両下面視



#### LH図示

※RHも同様



#### LH図示

※RHも同様

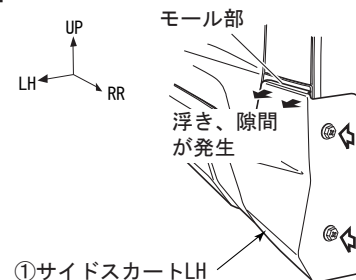
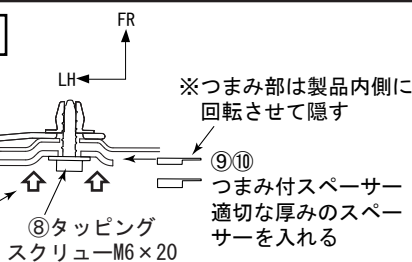
#### 重要

- 隙間が大きい場合は⑨⑩を2枚重ねて入れて下さい。隙間が空いた状態で固定するとサイドスカートを前方に押すことになりモール部に浮き、隙間が出る可能性があります。

#### 取付断面図

#### 重要

- サイドスカート固定穴周辺を押して隙間の有無を確認する
- 押して動く場合は適切な厚みのスペーサーを挿入し、押して動かなくなることを再度確認する



適切な厚みのスペーサーを入れないと隙間の前方に押される

#### LH図示

※RHも同様

# カローラ/カローラツーリング モデリスタ バージョン

## サイド スカート 取付要領書

品番 MSD44-12003-XX  
品番 MSD44-12004-NP  
品番 D2611-60410-XX

設定型式: ZWE21#(W)/ZRE212(W)/NRE210(W)/MZE17(W)

設定グレード: 全グレード

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、**サイドスカート**の取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

### 取り付け上の注意事項

- 取り付ける前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際、間違えない様に配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意して下さい。
- 商品の仮合せ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施下さい。
- **サイドスカート**を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、**必ず脱脂**して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、**必ず両面テープ用プライマー**を塗って下さい。(PACプライマーN200を本品に添付)
- 重要** プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- 重要** ■ 両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、特に白色塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で完全に拭き取って下さい。
- **ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離**して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。)ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、アルコール等で脱脂をきちんと行なって下さい。
- 重要** ■ 両面テープの圧着を十分に行なって下さい。500kPa (5kgf/cm<sup>2</sup>)以上
- 重要** ■ **サイドスカート固定用のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後**行なって下さい。

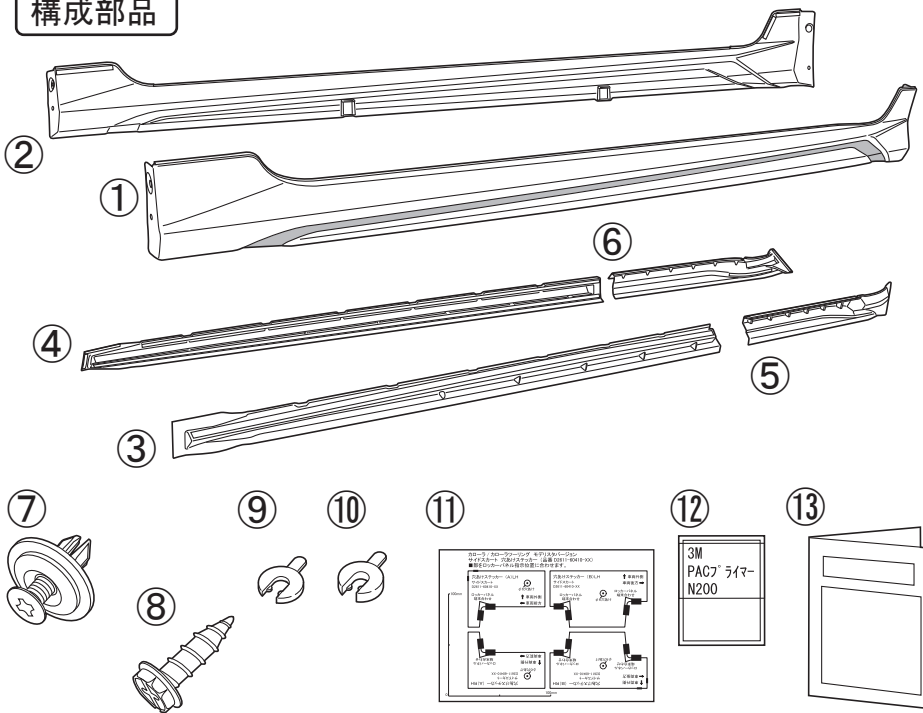
### 取り付け完了後の点検・注意事項

- **サイドスカート**が、ホイールアーチ、車両ロッカーパネルに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、**サイドスカート**及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、**最低3時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。(両面テープの剥がれ、車両ロッカーパネルと**サイドスカート**との間に隙間が発生する恐れがあります。)



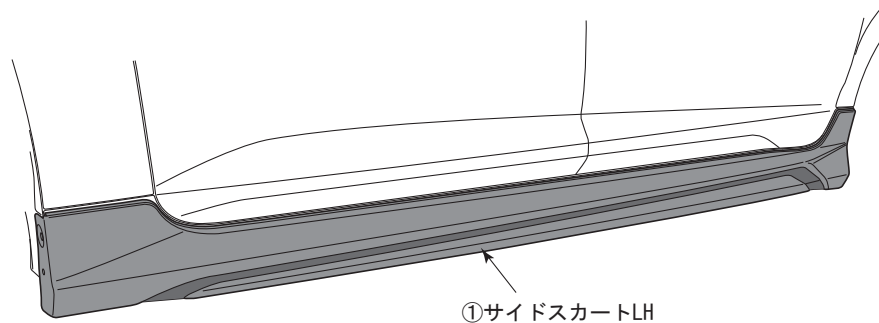
アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品



No.	品名	個数
①	サイドスカートLH	1
②	サイドスカートRH	1
③	リテーナーFR:LH	1
④	リテーナーFR:RH	1
⑤	リテーナーRR:LH	1
⑥	リテーナーRR:RH	1
⑦	スクリベット	4
⑧	タッピングスクリューM6×20	4
⑨	つまみ付スペーサー(2mm)	4
⑩	つまみ付スペーサー(3mm)	4
⑪	穴あけステッカー	1
⑫	PACプライマーN200	1
⑬	取付要領書	1

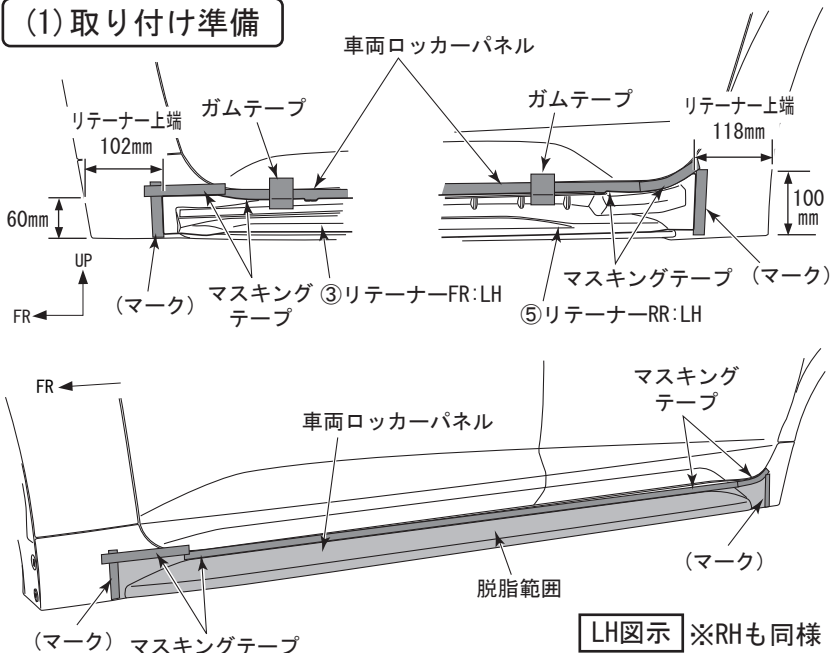
取り付け概要



※本書は車両左側で説明しています。右側も同様に作業を行なって下さい。

取付手順

(1) 取り付け準備

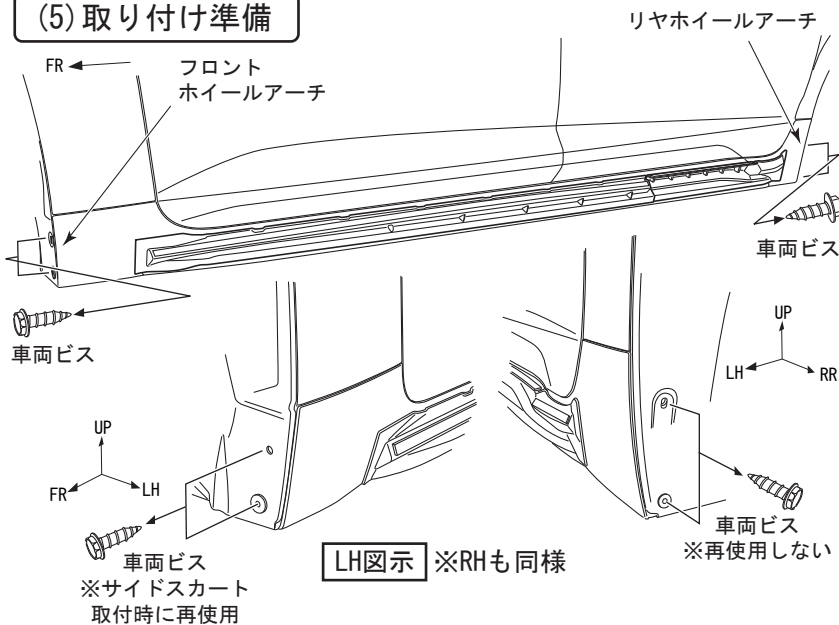


1. プライマー塗布の為に、車両ロッカーパネルへ③リテーナーFR:LH、⑤リテーナーRR:LHを左図の要領で、車両形状に沿わせてあてがい、前端と後端をマス킹テープでマーキングし、ガムテープで仮固定する。
2. 左図の要領で外周に合わせてマス킹テープでマス킹する。
3. リテーナーを取り外し、左図■部を脱脂する。

LH図示 ※RHも同様



**(5) 取り付け準備**

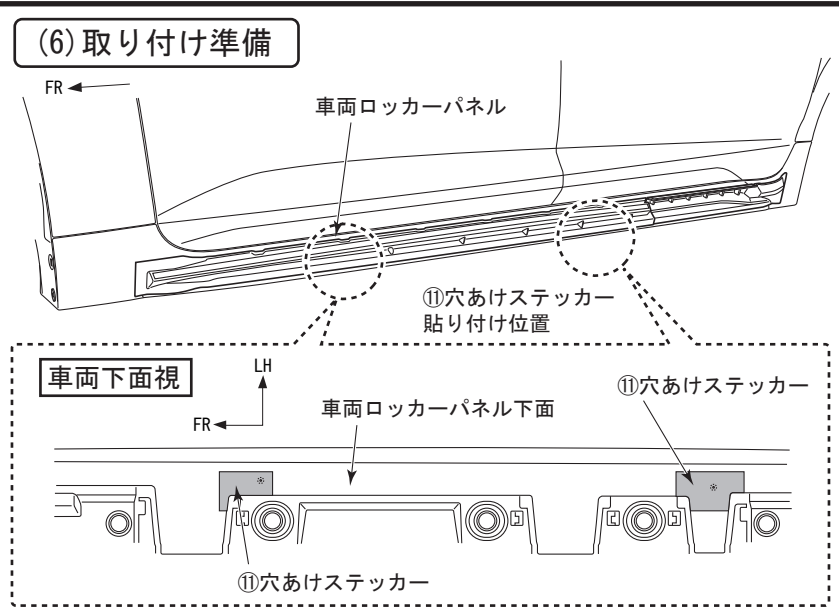


1. フロントホイールアーチ及び、リヤホイールアーチの車両ビスを取り外す。  
(前後各2カ所 計4カ所)

**アドバイス**

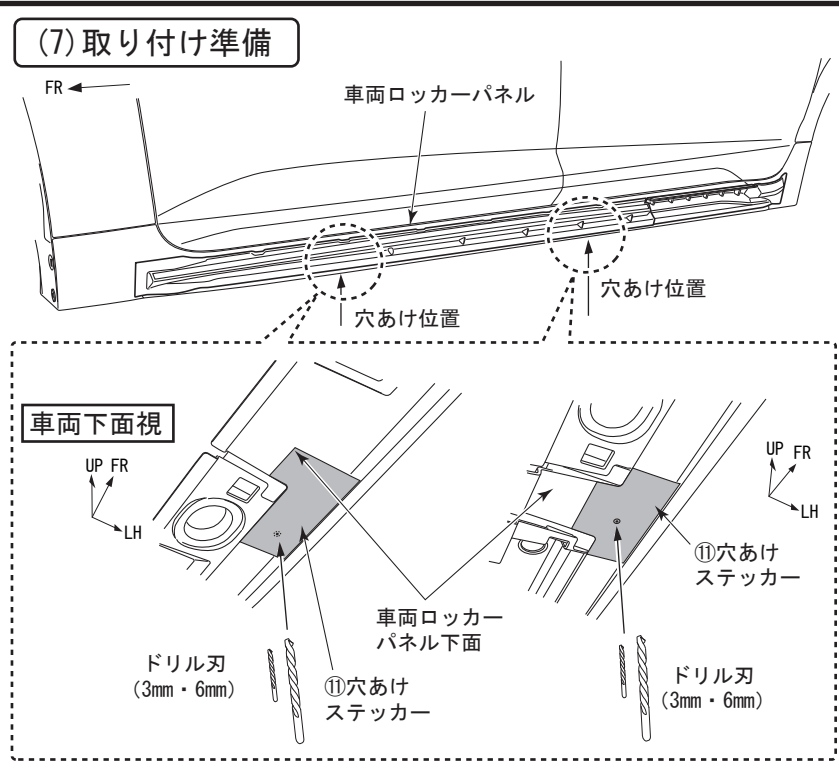
- ・取り外した車両ビスの一部は再使用しますので紛失しない様ご注意ください。

**(6) 取り付け準備**



1. 車両ロッカーパネル下面図示位置へ⑪穴あけステッカーを記載の要領で貼り付ける。  
(2カ所)

**(7) 取り付け準備**



1. ⑪穴あけステッカーの穴あけ位置中心へけがき棒等でマークし、ドリルで下穴φ3mm、正規穴φ6mmの順に車両ロッカーパネル下面へ穴をあける。(2カ所)
2. ⑪穴あけステッカーを剥がし、穴周りに出来たバリを取り、仕上げる。

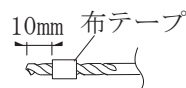
**アドバイス**

- ・型抜きされている小さい穴の中心を狙って穴あけをして下さい。

(参考穴径)

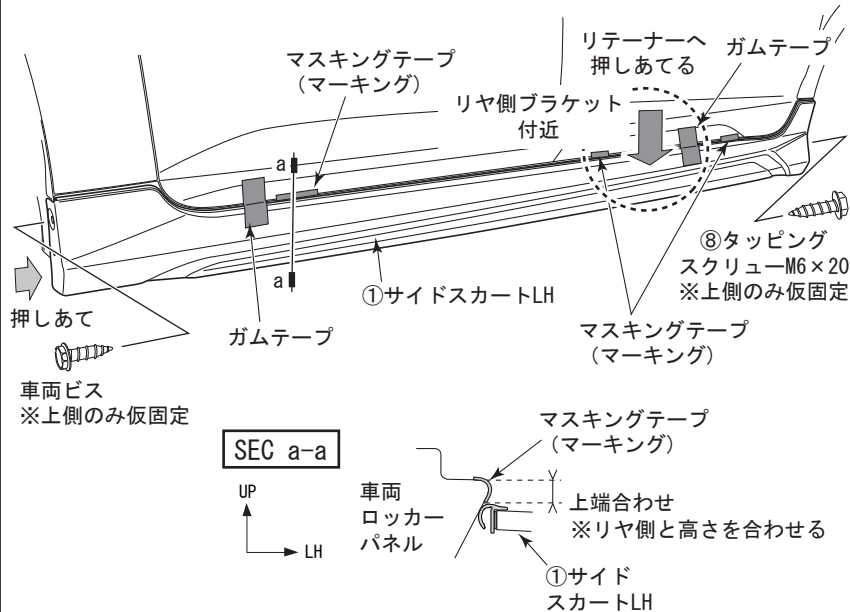


- ・突き抜け防止の為、ドリル先端から10mmのところ布テープを巻き付けて下さい。



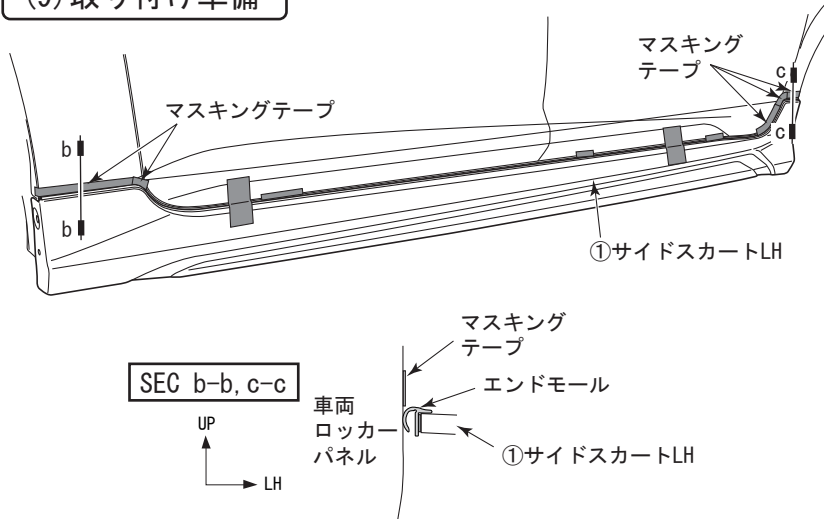
※ドアパネルとの距離が近いので、穴あけの際は突き抜けに注意して作業して下さい。

### (8) 取り付け準備



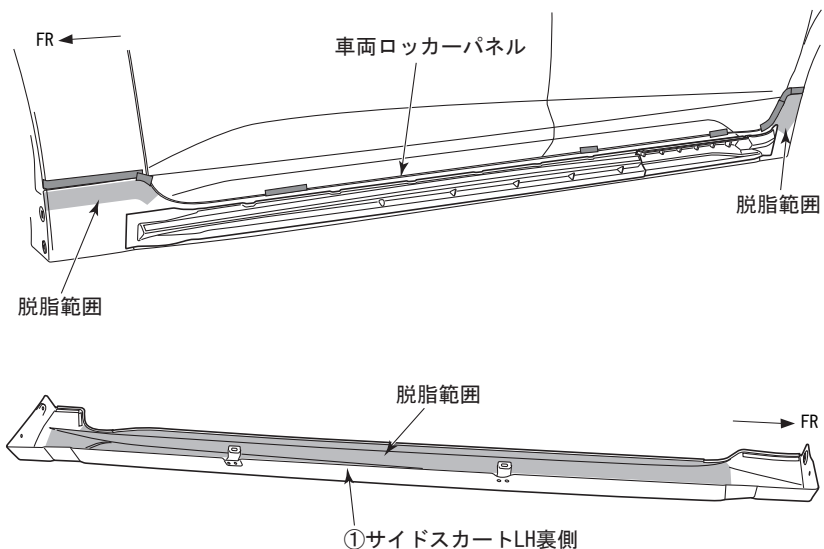
- ①サイドスカートLHを前側基準で後方へ押しあてて車両へあてがい、前後のフェンダーアーチ上部を前側は車両ビス、後側は⑧タッピングスクリュー-M6×20で仮固定する。
- ①サイドスカートLHのリヤ側ブラケット上部付近を下方向(リテーナー方向)へ押しあて、ゴムテープで仮固定する。
- 左図を参考にリヤ側の位置を高さ基準として、フロント側の高さを調整しゴムテープで仮固定する。
- ①サイドスカートLHのモール上端に合わせてマスキングテープで取り付け高さをマーキングする。(3カ所)

### (9) 取り付け準備



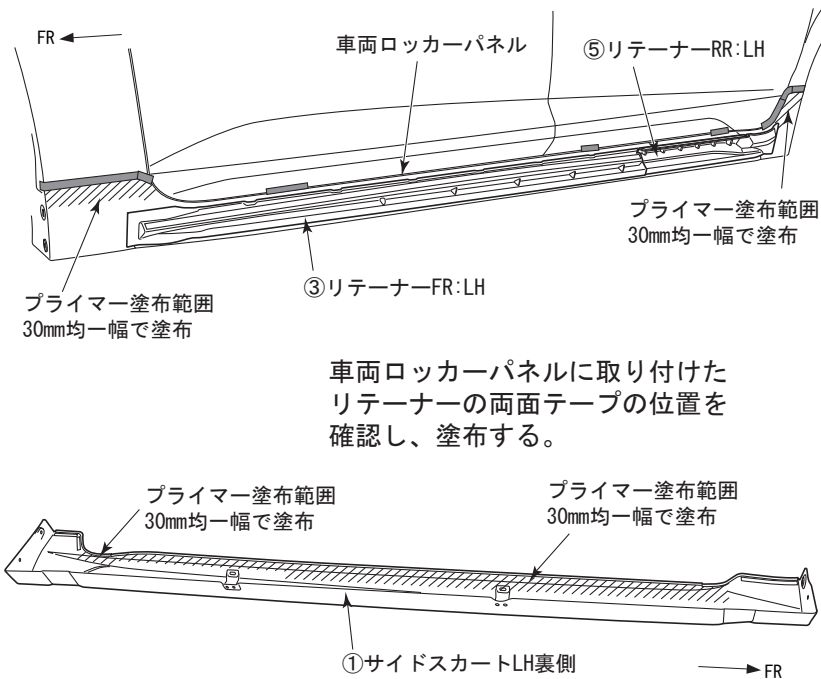
- プライマー塗布の為に、①サイドスカートLH前方上端、後方上端に貼り付けてあるエンドモール上端に合わせてマスキングテープでマスキングする。
- ①サイドスカートLHを一旦取り外す。

### (10) 取り付け準備



- 左図 ■部を脱脂する。

### (11) 取り付け準備



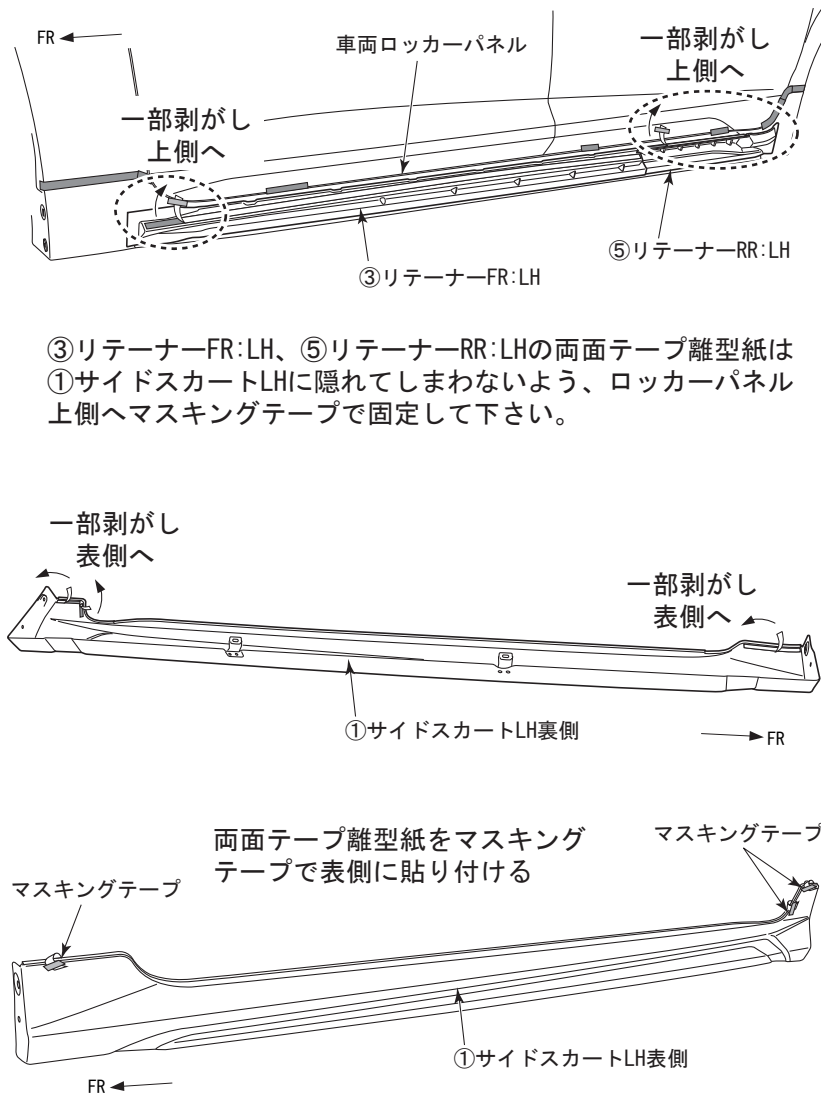
車両ロッカーパネルに取り付けたリテーナーの両面テープの位置を確認し、塗布する。

1. 車両ロッカーパネル及び、①サイドスカートLH裏側の両面テープ貼り付け部（左図斜線部）に⑫PACプライマーN200を塗布する。

#### アドバイス

- ・⑫PACプライマーN200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・⑫PACプライマーN200塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

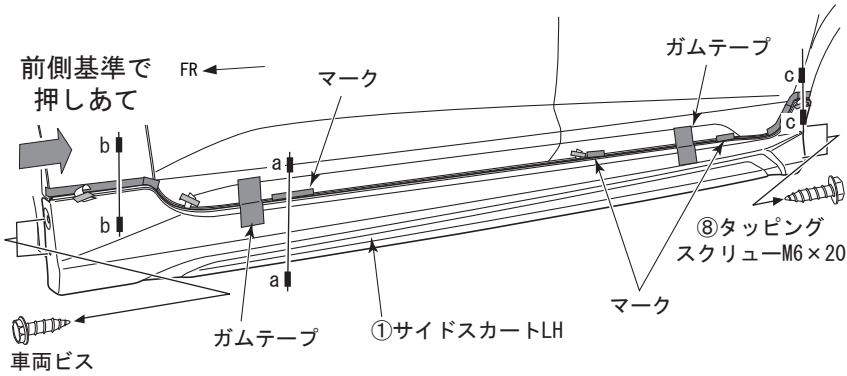
### (12) 取り付け準備



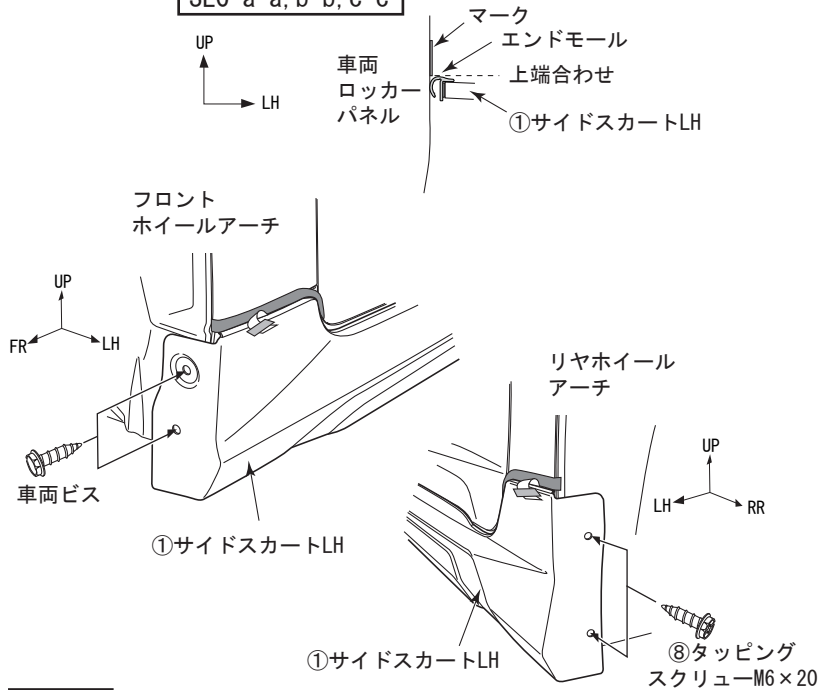
③リテーナーFR:LH、⑤リテーナーRR:LHの両面テープ離型紙は①サイドスカートLHに隠れてしまわないよう、ロッカーパネル上側へマスキングテープで固定して下さい。

1. 車両ロッカーパネルに取り付けた、③リテーナーFR:LH、⑤リテーナーRR:LHの両面テープ離型紙を一部剥がし、①サイドスカートLHをあてがった際に隠れない様、上方向へ折り返してマスキングテープで貼り付ける。
2. ①サイドスカートLHの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

### (13) 取り付け



#### SEC a-a, b-b, c-c



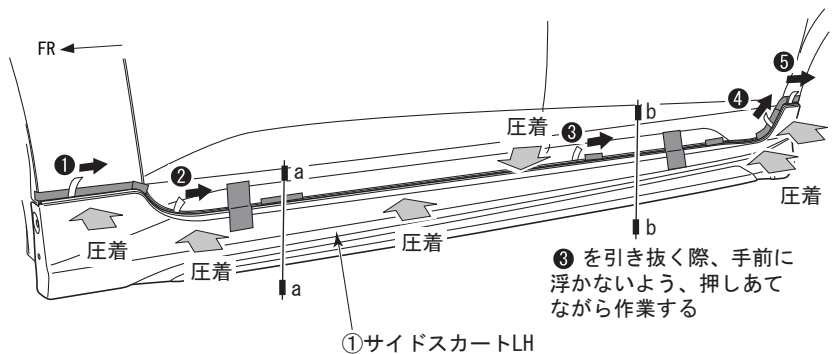
LH図示 ※RHも同様

- ①サイドスカートLHをマークに合わせて車両へあてがい、前側基準で後方へ押しあて、ガムテープで仮固定する。
- ①サイドスカートLHの前後ホイールアーチ部を前側は車両ビス、後側は⑧タッピングスクリューM6×20で仮固定する。  
(前後各2カ所 計4カ所)

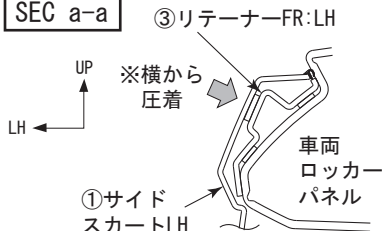
#### アドバイス

- 仮組みの際、バラツキを後に逃がすため、必ず、前側を基準に合わせて下さい。

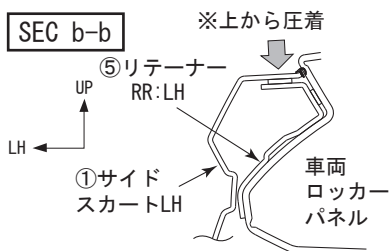
### (14) 取り付け



#### SEC a-a



#### SEC b-b



- 両面テープ離型紙を図示①～⑤の順に引き抜きながら圧着する。

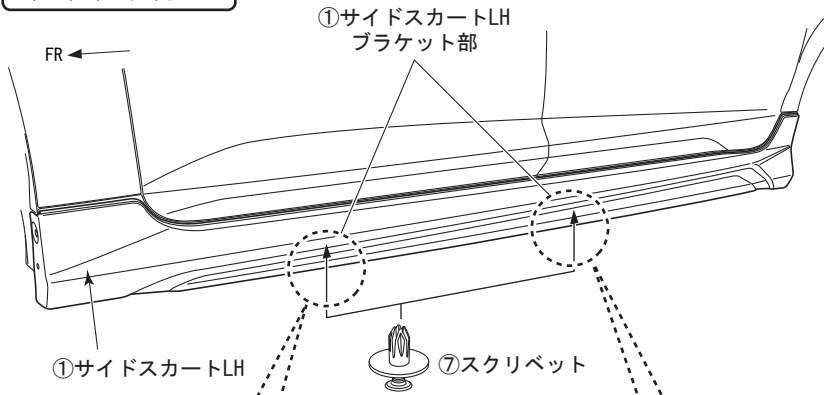
#### アドバイス

- 左図を参考に、圧着の位置に注意して作業を行なって下さい。
- 両面テープの圧着力は500kPa (5kgf/cm<sup>2</sup>)以上で行なって下さい。

#### 重要

- 浮き、剥がれ、傷等が無い事を確認し、再圧着する。
- 全てのマスキングテープを剥がす。

**(15) 取り付け**



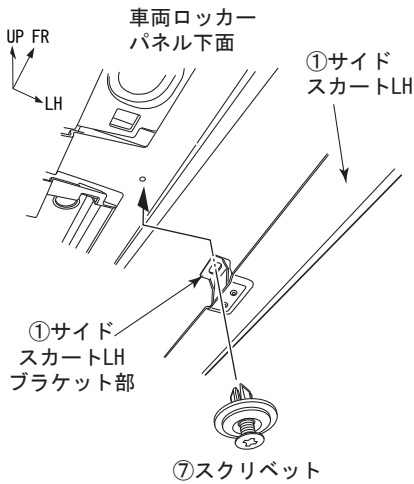
- ①サイドスカートLH下面ブラケット部を⑦スクリベットで固定する。(2カ所)

**アドバイス**

- ⑦スクリベットはしっかりと奥まで押し込んで下さい。

- ①サイドスカートLHとリヤ側ホイールハウスとの間に隙間がある場合は、適切な厚みのつまみ付スペーサーを入れる。(2カ所)
- つまみ付スペーサーのつまみ部を①サイドスカートLH内側に回転させて隠す。(2カ所)

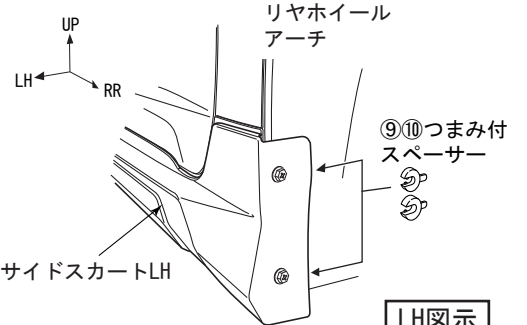
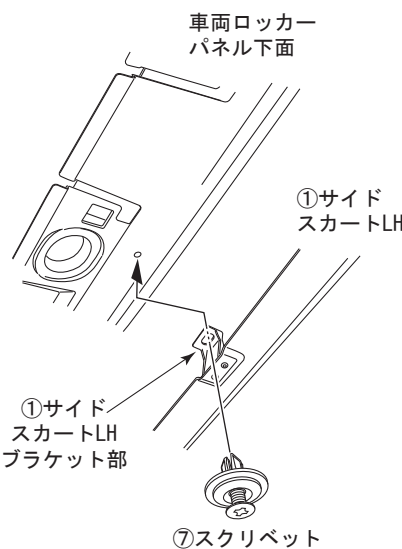
**車両下面視**



**LH図示**

※RHも同様

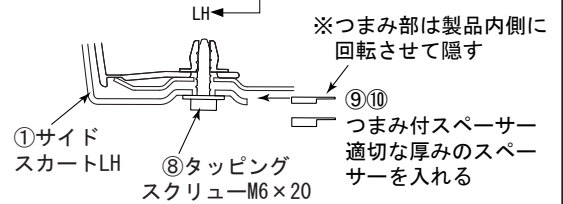
**車両下面視**



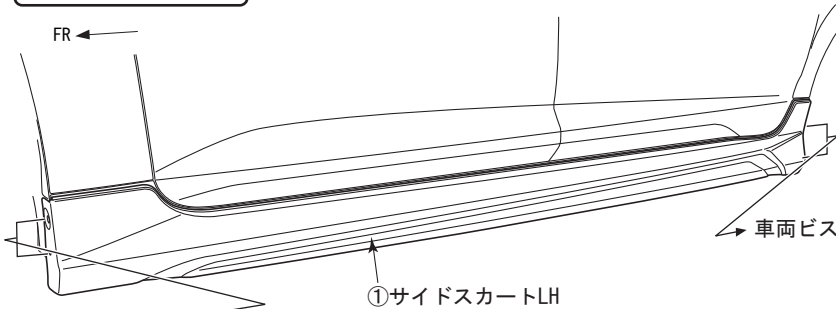
**LH図示**

※RHも同様

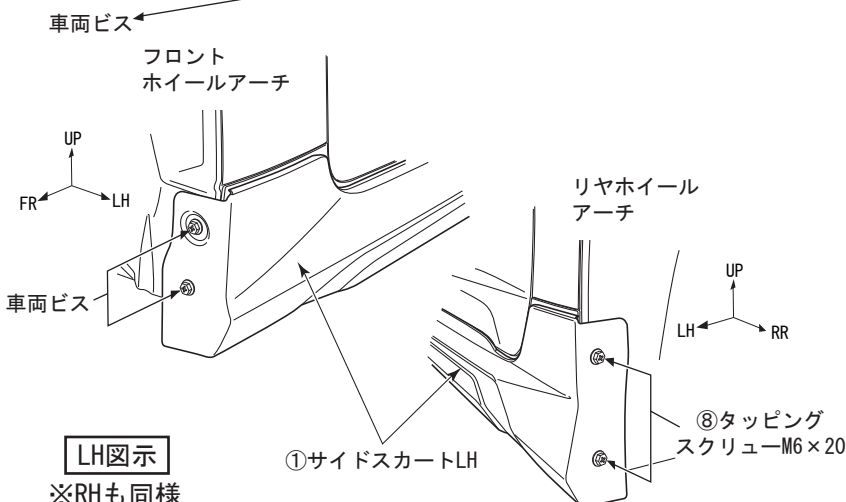
**取付断面図**



**(16) 取り付け**



- 全ての両面テープ接着面を3時間後に全て本圧着する。
- 全てのビスを本締めする。(4カ所)

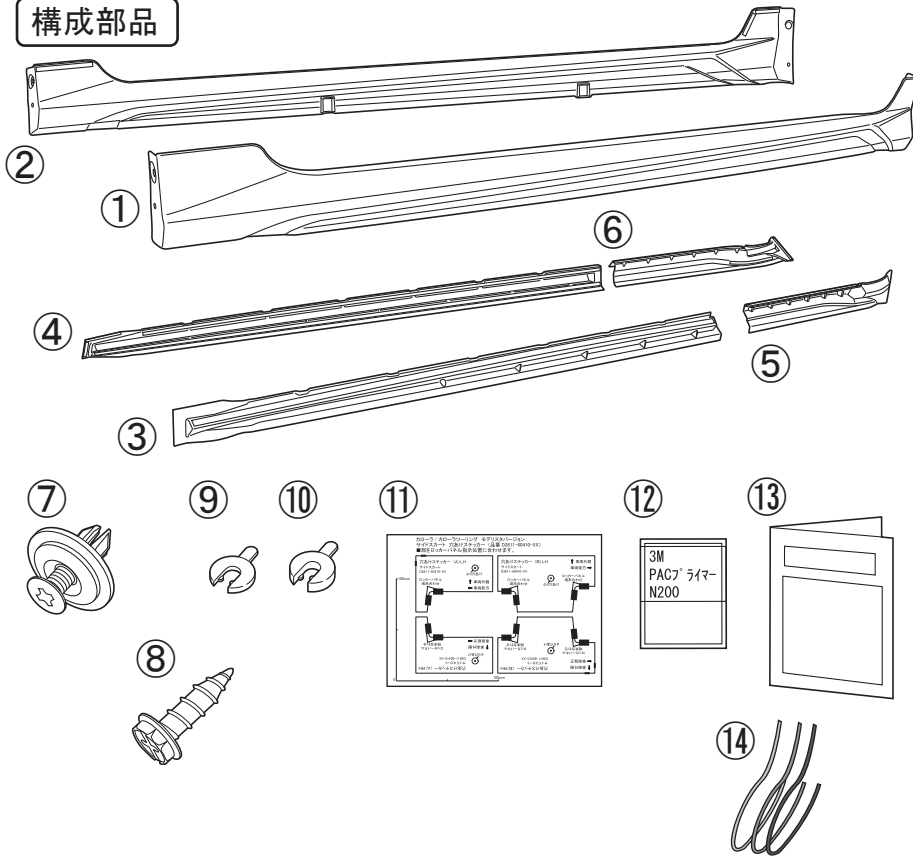


**LH図示**

※RHも同様

# サイドスカート素地品の塗装手順

## 構成部品



No.	品名	個数
①	サイドスカートLH	1
②	サイドスカートRH	1
③	リテーナーFR:LH	1
④	リテーナーFR:RH	1
⑤	リテーナーRR:LH	1
⑥	リテーナーRR:RH	1
⑦	スクリベット	4
⑧	タッピングスクリューM6×20	4
⑨	つまみ付スペーサー(2mm)	4
⑩	つまみ付スペーサー(3mm)	4
⑪	穴あけステッカー	1
⑫	PACプライマーN200	1
⑬	取付要領書	1
⑭	エンドモール	ライトグレー: 2 ダークグレー: 2 黒: 2

## ⑭エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
040	スーパーホワイトⅡ	ライトグレー
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1F7	シルバーメタリック	ダークグレー
1K3	セレストタイトグレーメタリック	ダークグレー
209	ブラックマイカ	黒
220	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン	黒
3U4	スカーレットメタリック	黒
8W7	ダークブルーマイカメタリック	黒
3T3	センシユアルレッドマイカ	黒
1K9	スレートグレーメタリック	黒
4V0	アーミーロックメタリック	ダークグレー
1L6	マッシュグレー	黒
218	アティチュードブラックマイカ	黒
8X7	ブルーメタリック	黒

## (1) 塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。

### アドバイス

- ・脱脂は手早く行ない、十分溶剤を揮発させてから次の作業を行なって下さい。
- ・もし、ペーパー等で素材を研磨する場合は、必ずペーパーの番手を#600以上で完了して下さい。

2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。

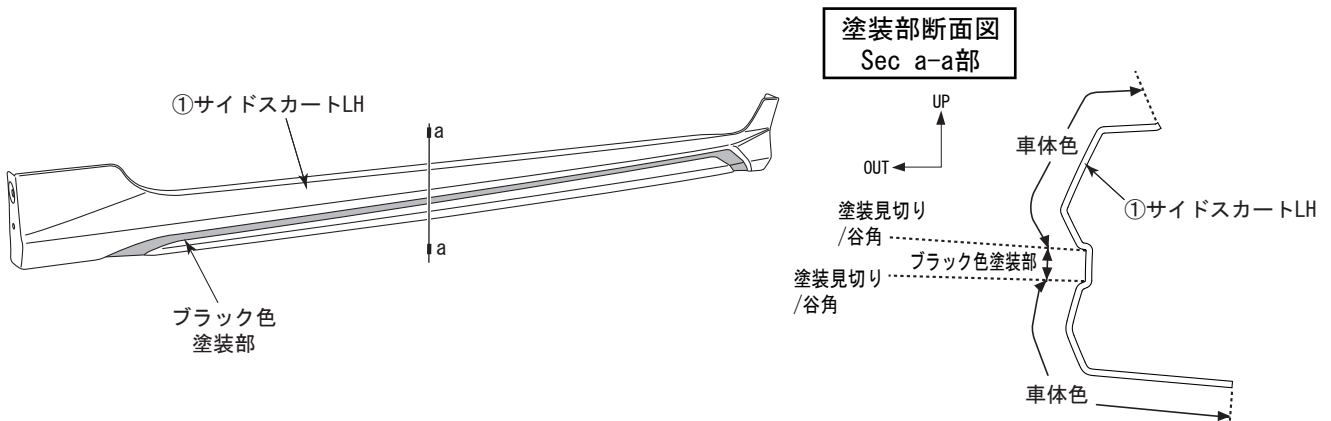
3. 上塗り塗装を行なう。(本品の材質はABSです。)

注記: 上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。

※ブラック塗装はブラック<202>で塗装して下さい。

4. 乾燥

注記: 乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60°C以下で乾燥させて下さい。



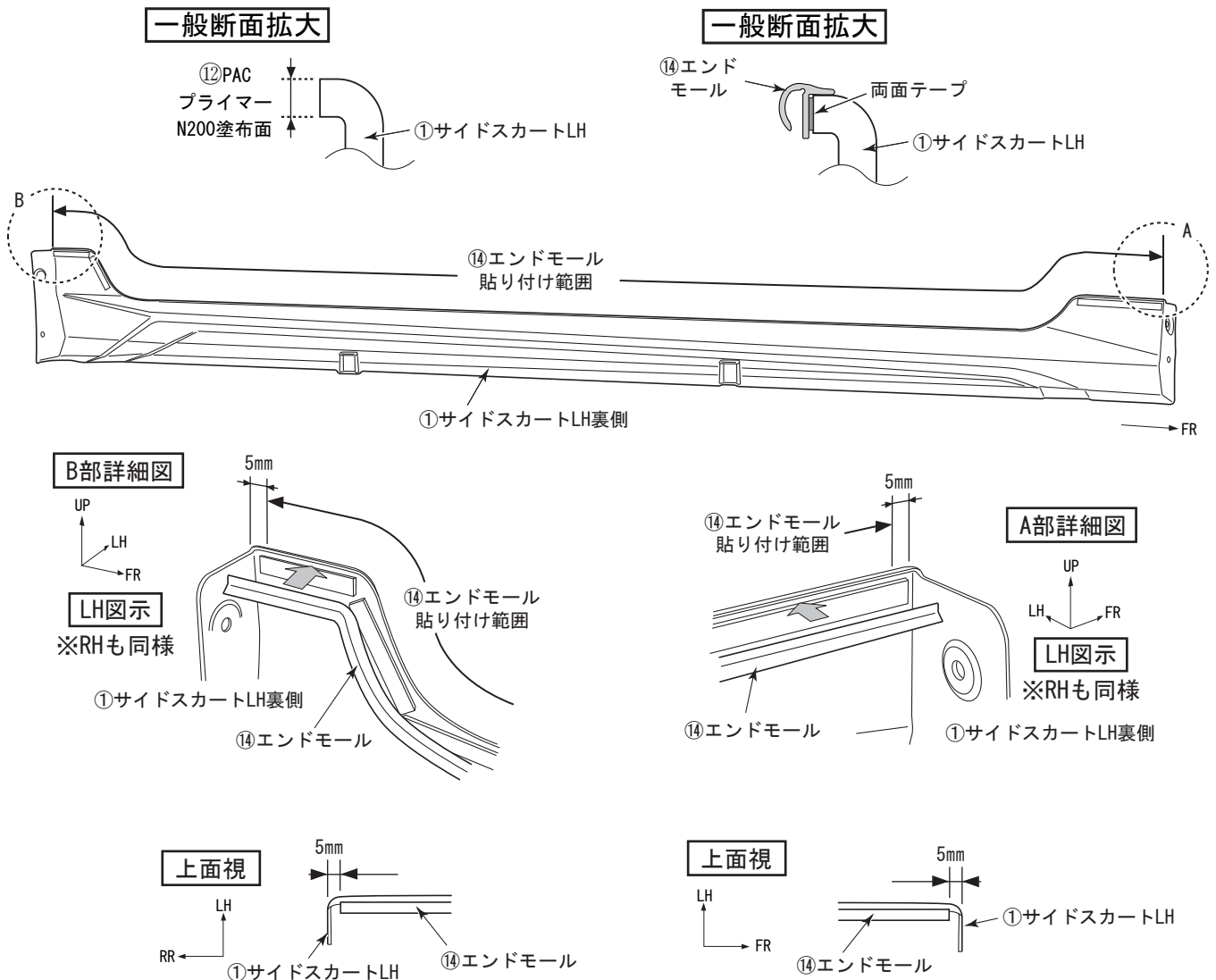
## (2) エンドモールの貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑭エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑫PACプライマー-N200を塗布する。

### アドバイス

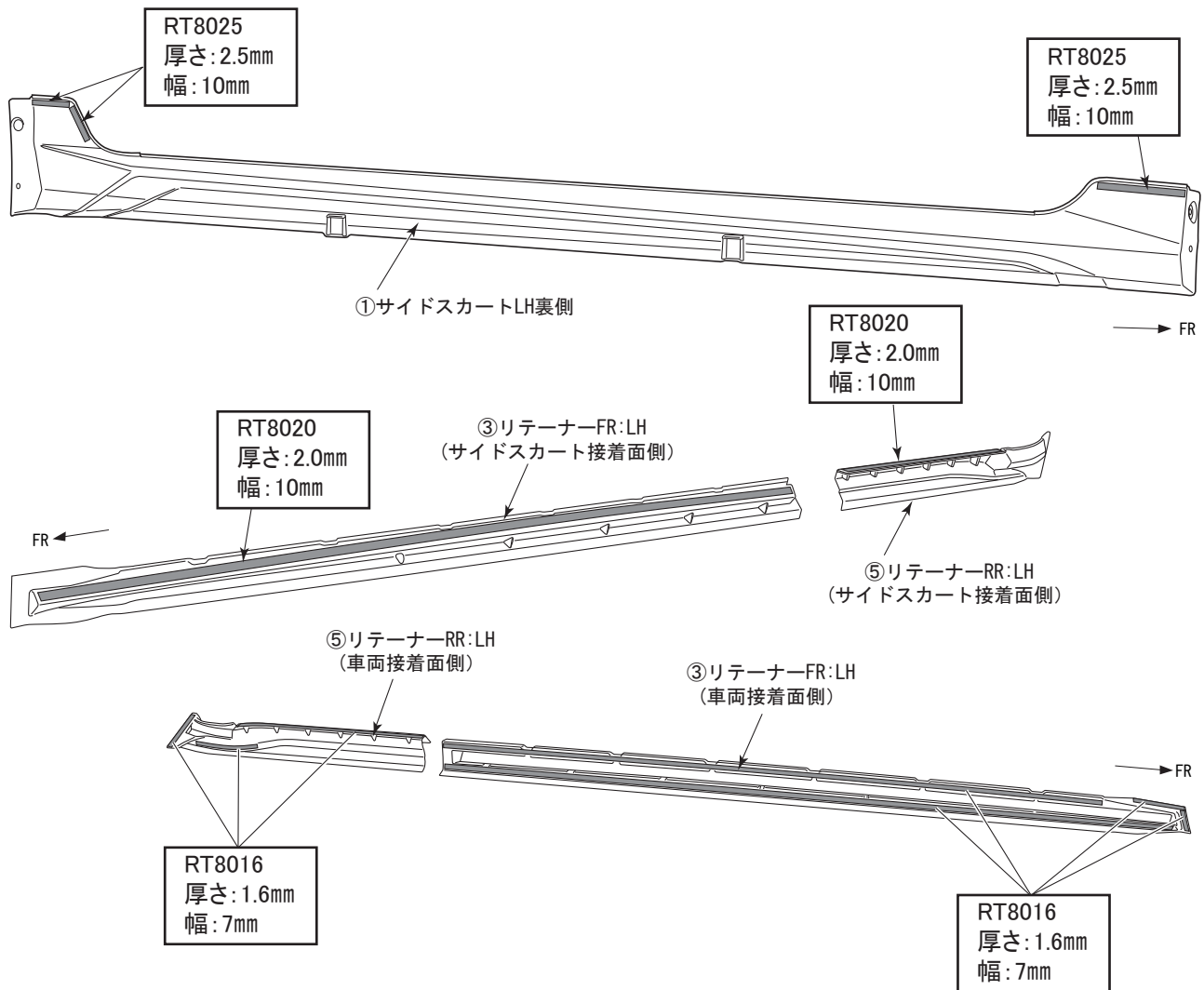
- ・⑫PACプライマー-N200はサイドスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・⑫PACプライマー-N200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・⑫PACプライマー-N200塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。

2. 下図の要領で⑭エンドモールを貼り付ける。



参考

1. 補修キット(品番:MSD80-12H05)を使用してサイドスカートの取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し、貼り付けて下さい。



LH図示 ※RHも同様

# 脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を  
解説動画でご覧いただけます。  
右のQRコードよりアクセスのうえ  
ご確認ください。

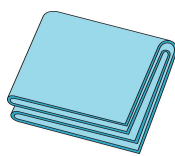


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
  - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
  - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

## ■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



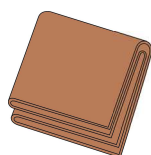
合成セーム皮



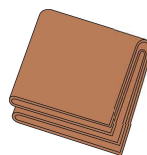
脱脂剤用  
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用  
ウエス




WET 用  
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)  
※純度 100%推奨

## ■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。  
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

## ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

### ■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。  
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。  
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

### ■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

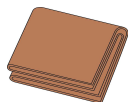


水拭き用バケツ



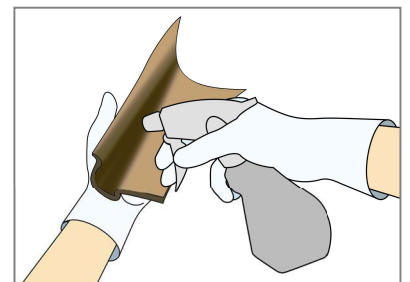
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

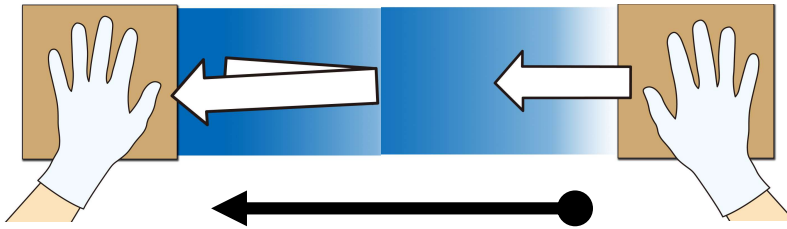
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで  
1往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に  
拭き上げ油脂分を取り除く



1ブロック60cm程度として両手にWETとDRYのウエスを交互に持ち  
WET⇒DRYの順に拭き上げて脱脂する。

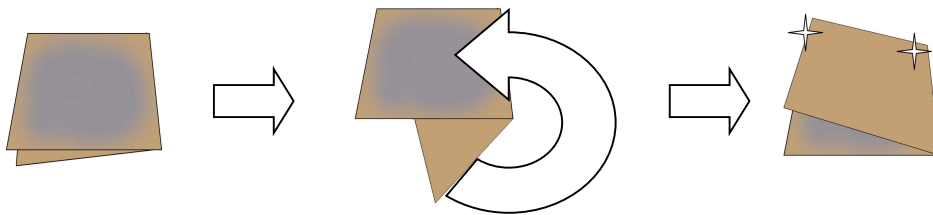
範囲が広い場合は1ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に3~5ブロック毎にウエス表面を折り返しウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。  
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。